

## 健康診断に役立つコラム ～知っておきたい乳がん検診のこと～

乳がんは、一生涯で日本人女性の16人に1人がかかる病気で、女性のがんで第1位ですが、早期発見して適切な治療を受ければ、90%以上が治ります！  
早期に発見するために、検診は欠かせません！

乳がん検診には医師による視触診とマンモグラフィーや乳腺エコー（超音波）検査があります。

国の制度としては

40歳以上の女性に2年に1度の《視触診+マンモグラフィー》の乳がん検診を推奨しています。

視触診は、医師が乳房にくぼみ、しこり、リンパ節の腫れ、乳頭からの分泌物がないかを観察します。しかし、視触診だけでは見逃されてしまう乳がんがあるのも事実です。

視触診+マンモグラフィーor 乳腺エコー（超音波）を受けていただくことでより早期に乳がんを発見することができます。

いざ検診、では、マンモグラフィーと乳腺エコーはどちらを受ければ良いのでしょうか？

マンモグラフィーは、石灰化といってがん細胞の死骸や分泌物を発見するのが得意です。

ただし20～30歳代の乳腺が発達している若い人では真っ白な写真になり、異常を見つけにくくなります。そこで40歳以上の方に推奨されています。

乳腺エコーは、乳腺量の影響を受けないので、20～30歳代の若い方や40歳代でもまだ乳腺の多い方(月経前の張りが強い方)は乳腺エコーが適しています。ただし、石灰化の描出には問題があります。

どちらの検査も乳がんを早期に発見するという点は同じです。

それぞれの検査に得意、不得意とする点があります。両方を受けていただく事がより精密な検査結果につながりますが、まずは年齢や乳腺の状態によってどちらかの検査を選択し検討して検診を受けることをおすすめします。

乳がんは年々増えてきています。発症する年代も30歳から高齢の女性まで、幅広い年代で起こります。

『まだ受けなくて大丈夫』と先送りにしないで、『何も無いことを確認する』と言う気持ちで、まずは1度どちらかを受けてみる一歩を踏み出してください！

★乳がん検診の補助や無料クーポンの制度があることをご存知でしょうか？

以下のような国の制度がありますので、ぜひ活用してください！

※2年に1回、視触診+マンモグラフィー検査の補助が受けられる制度。

※40歳・45歳・50歳・55歳・60歳を対象とした乳がん無料検診（←無料のクーポンがもらえます！）

（申請方法や配布時期などは、お住まいの市区町村によって異なる場合がありますので、市区町村のがん対策担当者に問い合わせてください。）

健診センターに、乳がん検診に関連したパンフレット等をご用意しています。  
検診の際、ぜひご利用下さい。